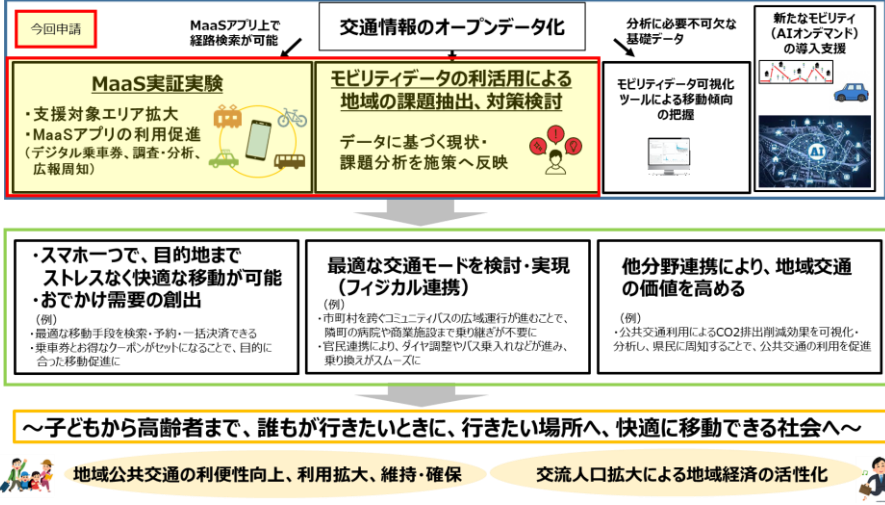


近未来MaaS福岡モデル創出事業

国内外の交通の結節点であり多様な交通ネットワークが形成されている福岡県において、民間事業者が保有するデータ連携基盤を活用し、コストを抑えながらICカードデータや運行データを人流データ等と組み合わせて分析することで、交通政策立案（EBPM）や交通事業の最適化を図る。また、市町村におけるMaaSの取組や交通情報のオープンデータ化を推進する。今後、本事業で構築した事業スキームをベースに県内の他エリアへ広げ、交通事業の最適化につなげる。

県が主体となって進める会議	【検討会議】日田彦山線沿線BRTエリアMaaS検討会議、久留米エリアMaaS検討会議、有明エリアMaaS検討会議、糸島エリアMaaS検討会議、筑紫エリアMaaS検討会議、宗像～新宮 国道3号沿線エリア検討会議 【事務局】福岡県		事業イメージ	
地域課題	● 人口減少や運転手等の人材供給不足による公共交通の利用減少 ● データの一元的な把握・管理・活用および地域間・官民での有機的な連携の不足		～ 福岡県のMaaS戦略 ～ 	
事業概要	サービス開始時期	2023年8月～ ※補助対象事業は2024年7月以降	施策 効果 目指す姿	
	事業エリア	【2023年度～事業継続中】 日田彦山線BRT沿線エリア…東峰村、添田町、日田市（大分県） 久留米エリア…久留米市 有明エリア…大牟田市、柳川市、みやま市 【2024年度事業開始予定】 糸島エリア…糸島市、福岡市、唐津市（佐賀県※予定） 筑紫エリア…太宰府市、筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市 宗像～新宮 国道3号沿線エリア…新宮町、古賀市、福津市、宗像市		
	MaaSシステム	（導入済み）My Route(民間事業者が提供するアプリ)		
	交通サービス	（導入済み）オープンデータと連携した経路検索の提供 （導入済み）デジタル企画乗車券の販売		
	交通以外のサービス	（新規導入）地域ごとの移動実態を把握、分析し施策へ反映する環境の実装（民間事業者保有のモビリティデータ連携基盤を活用） （導入済み）MaaSアプリと他アプリやサービス間連携による利便性向上 （他事業で実施）地域の観光・イベント情報の発信		
事業目的	● データの分析結果を地域の行政機関や交通事業者が一体となって活用し、施策に反映できる仕組みの構築 ● 客観的・具体的な根拠に基づく公共交通政策の立案（EBPM） ● 交通ネットワークの最適化 ● 移動関連サービスの開発・提供 ● 交通以外の分野における地域課題の解決に資する取組の展開		今後の方向性	
				● 他エリアへのMaaS導入、拡大 ● MaaSアプリの利用者増加 ● 広域でのモデルケース創出、他分野との連携の深化 ● データ、ノウハウの九州全体（九州MaaS）への展開

評価指標

- 福岡県内の乗合バス利用者数（269,132千人）
- MaaSアプリ利用者数（564,505人）
- データ利活用実施市町村数（55市町村）

今後の方向性

- 他エリアへのMaaS導入、拡大
- MaaSアプリの利用者増加
- 広域でのモデルケース創出、他分野との連携の深化
- データ、ノウハウの九州全体（九州MaaS）への展開